

日本共産党熊本市議団山部洋史です。

議第 1 号「平成 31 年度熊本市一般会計予算」について反対討論を行います。

今回の予算については、恒久住宅へ移行する際の引っ越し費用や初期経費の支援、災害公営住宅の整備、被災マンション建てかえ支援、および子ども食堂の運営支援での食材費への助成、など評価できる点もあります。しかし、全体として見るのならば、以下の理由により賛同できません。

1 点目は、復興計画に位置づけられた、被災者の生活、住まいの再建に向けた取り組みが実態から見ればまだまだ不十分であり、さらなる支援が必要だという点です。

なかでも住宅再建については最後の一人まで、震災前の生活を取り戻すまで粘り強い支援が求められます。

本年度、入居期限 2 年を迎える仮設住宅入居者に対して、東日本大震災においては一切なかった 8 項目にのぼる厳しい延長条件が設定され、結果、期限延長を希望する入居者が仮設からの退去を余儀なくされる事態が数多く発生しました。

来年度、さらに 4 年目の延長に際しては、自宅再建の方に限定し、民間賃貸、既存の公営住宅を希望している方については、延長を認めないと、締め出しを強行するような条件が設定されています。那須議員の一般質問でも述べられましたが、子どもの通学の問題や家賃の問題、低層階の物件が見つからないなど、様々な理由から仮設退去後の生活を心配されている方が多くいらっしゃいます。

国と県との協議で決まったことだからといった態度ではなく、安心して恒久的な住宅に移行できるように、さらには経済的な状況、健康面なども含め、延長が必要な方には入居延長を柔軟に行えるよう、国や県に求めるべきです。

2 点目は、熊本地震被災者への冷たい支援のなか、一方で中心市街地の再開発を中心に大きな支出を伴う事業が次々と予算化されている点です。来年度予算において、桜町再開発事業に 12 億 3,914 万円、熊本城ホールの保留床取得などの費用に 93 億 8,012 万円、ほか MICE 誘致などに合計 108 億円もの予算が提案されています。また、シンボルプロムナード整備に 8 億 5300 万円、JT 跡地取得に向けた協議のための経費に 400 万円、くわえて熊本城災害復旧経費 48 億円のうち、熊本城見学通路整備に 10 億 8,000 万円など、大型ハコモノや不要不急の用地買収へつながる予算が多数提案されています。 税収増も見込めない中、バブル期に匹敵するような大型箱モノや用地買収を行うなど、こうした予算編成のあり方は大いに問題があります。

また、本庁舎のあり方調査検討経費として 3,240 万円が提案されています。

市議団としても、専門家の意見を様々聴取いたしましたが、「建替えありき」で進むことに懸念を示される声が多数ありました。

現時点においては耐震補強も含め、幅広い市民の意見を聴取すべきであるにもかかわらず、市民の合意を得ない段階で、「建替えありき」というやり方は認められません。

3 点目、くらし、福祉・教育の分野では、がん検診経費として 3 億 7,820 万円が提案されています。今回、新たに 70 歳以上の自己負担分が無償化されたことは評価いたしますが、あと 5,200 万円あれば 69 歳以下の検診も無料化できます。全世代の無料化をぜひ実施すべきです。

また、給食室等熱中症対策経費については、予算決算委員会の締めくり質疑で上野議員も取り上げましたが、要求額 2,078 万円に対して D 査定の 1,200 万円まで減額されたことは大変問題です。私がお話をうかがった北区の武蔵共同調理場だけでも、昨年 2 回もの救急搬送が起こっています。命にかかわる大問題です。また共同調理所では民間委託になってから職員の皆さんは最低賃金での業務を強いられています。劣悪な労働環境と相まって短期間で辞めていく人が後を絶ちません。子どもたちの食の安全の面でも抜本的な改善が必要です。

最後に、市電路線延伸調査設計経費 6,100 万円については、先日の付帯決議が付けられましたように市電延伸は事業費が百数十億円もかかるものでありそれを進めるにあたっては、市民や議会に丁寧な情報提供と意見の聴取を行い、慎重に進めるべきです。

私たち市議団が行った市民アンケートの、「市政に望むこと」の回答では、トップの「国保料の引き下げ」や「生活再建に向けた被災者支援」などに続いて「税金のムダづかいをしない」が第 5 位に入っていました。中心市街地への投資など大規模な事業が連発されるなか、一方で市民の暮らし・命にかかわる事業への取り組みはどうなのか、市民が常に注視していることの表れだと思います。

市民の置かれた実態を直視して、暮らしや医療・福祉の面で直面している困難を軽減する、こうした役割を熊本市が果たすよう要望し、討論いたします。